



トヨタ ランドクルーザー

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



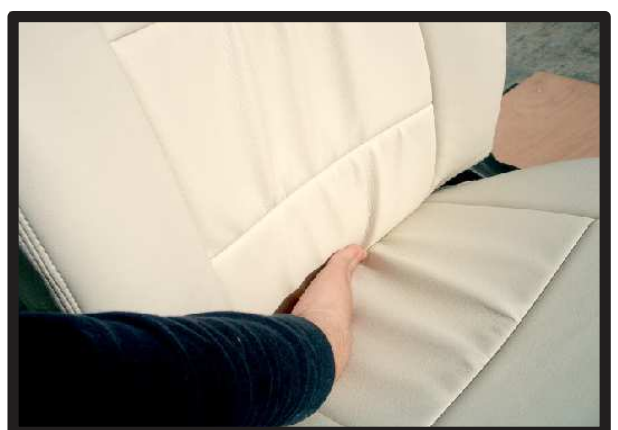
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



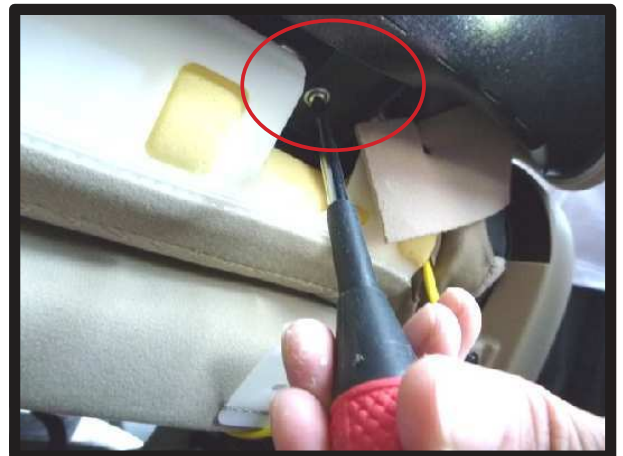
①始めに背もたれ下のパーツを外します。図のパーツは座面シート裏の金属部分にプラスチックフックで固定されています。



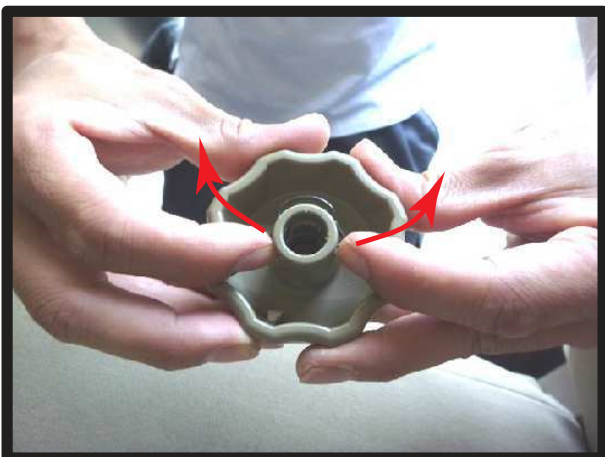
④背もたれ背面のバックボードを外します。①で外した背もたれ下のパーツをめくり上げると丸印の位置にネジが2本見えます。



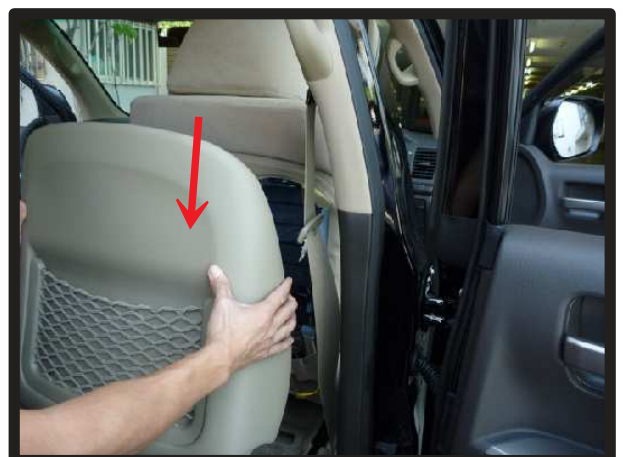
②シート上下アジャスターのダイヤルを外します。



⑤ネジを2本ともドライバーを使用して外します。



③シート上下アジャスターのダイヤルは図のように、中にあるピンを矢印の方向に指で引っ掛けるように開けると、シートから引き抜くことができます。



⑥矢印方向へ下に引き抜くようにしてバックボードを外します。



⑦カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑩矢印の加工穴にシート上下アジャスターの軸を合わせます。シートと土台のプラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。



⑧背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行ってください。



⑪アジャスターレバー付近のシートとプラスチック部の隙間に、カバー側面から出ているヒモを入れ込みます。



⑨入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑫入れ込んだヒモは図のようにプラスチック部の下側から引き出します。

1 列目座面続き



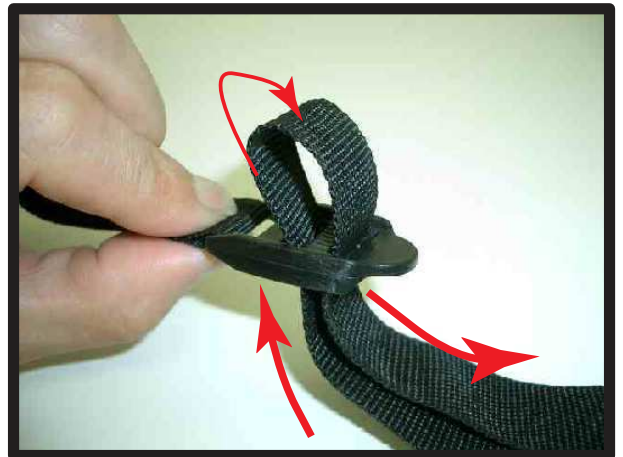
⑬カバー内側側面のヒモはカバーをかぶせた状態で、そのままシート背面から引き出します



⑭カバー前後に付いているベルトを座面裏を通して、結び留めます。シート前方のベルトはスライドレバーなどの上を通して、シート背面から引き出して下さい。



⑮引き出したヒモの片方で輪を作ります。



⑯ベルトの固定方法は、最初にベルトを図のように真中の穴に通し、次に右端の穴に通します。ベルトを引く事で固定されます。



⑰作った輪にもう片方のヒモを通します。通したヒモを引き、座面下回りを引き絞り結び留めます。

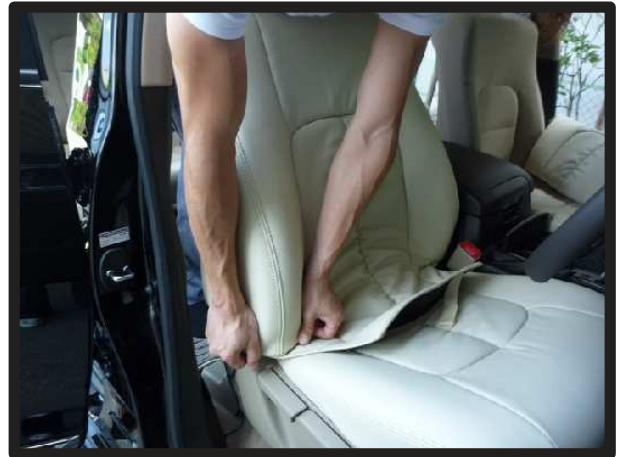


⑱座面カバーを取り付けたシート背面からの図です。

1 列目背もたれ



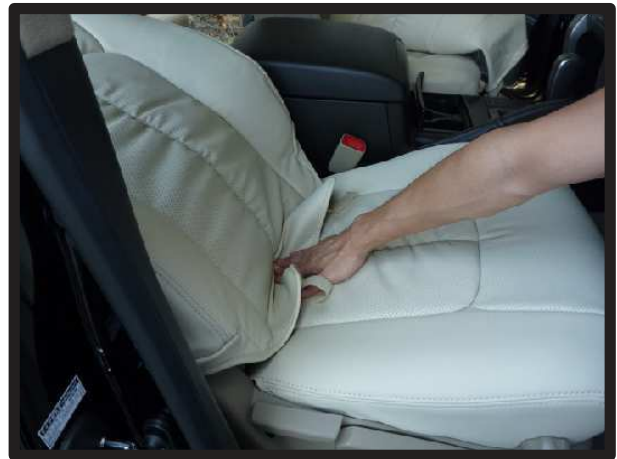
⑱シート上下アジャスターのダイヤルをシートに戻します。



①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑳シートのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部シート形状が異なりますが、同様に取り付けを行います。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。

1 列目背もたれ続き



④図の①～③の順番に生地をなで下ろしてシートに密着させるようにしわを無くしていきます。



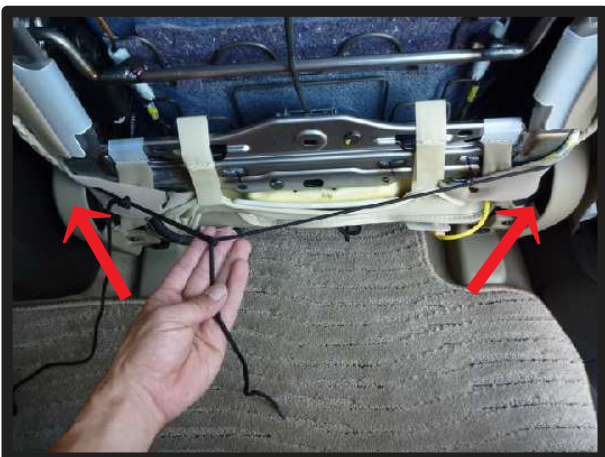
⑦ヘッドレストの台座を取り出します。台座の端に生地をしっかりと潜り込ませます。



⑤4ページの③で引き出した生地についているマジックテープのベルトを図のようにシート裏の金属バーに巻き付け固定します。



⑧生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑥カバー両側面から出ているヒモを絞り込んで結び留めます。この際、矢印部分の角にヒモを引っ掛けるように結び留めて下さい。



⑨シートのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けを行います。

2列目座面



①2列目座面カバー装着には、チャイルドシート固定用バーを使用します。チャイルドシートをご利用されるお客様は②の作業は行わないで下さい。カバーをシートに密着させるための作業ですので、チャイルドシートを置かれることでその必要がなくなります。



②カバーをシートのラインに合わせてチャイルドシート固定用バー付近から出ているマジックテープのベルトを、バーに巻き付けて固定します。



③シートベルトが出ているシート部分に、シートベルトをかわしてカバーをかぶせます。



④カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑤シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。アームレストの下部分も同様に生地を入れ込んで下さい。矢印部分はシートの軸がありますので生地をかわして入れ込みます。

2列目座面続き



⑦ 6ページの⑥で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑩シートを跳ね上げて、シート裏で前後のベルトを固定します。運転席側には3本、助手席側には2本あります。カバー側面から出ているヒモもシート裏で結び留めます。



⑧シートの軸を交わして引き出した生地同士をマジックテープで固定します。



⑪シートベルトバックルの部分に生地を入れ込みます。



⑨カバー側面の生地を、シートのプラスチック部に沿わせてシートの裏側へ持ってきます。持ってきた生地を⑦で引き出した生地とマジックテープで固定します。



⑫ 6ページの③でシートベルトを巻くようにかわした生地を、マジックテープで固定します。

2列目座面注意点



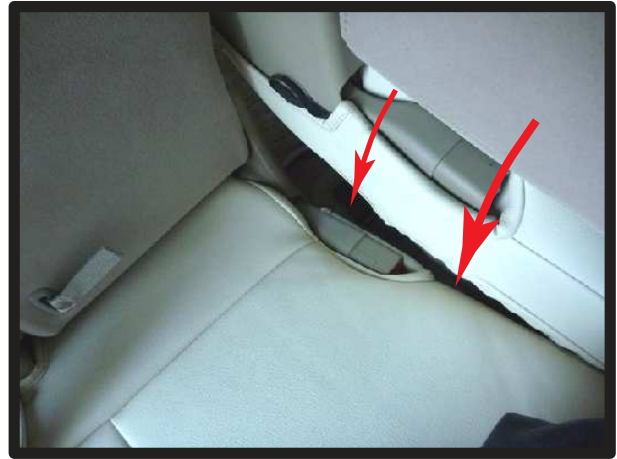
⑬シート内側のシートベルトバックル部分に生地を入れ込みます。



※シート内側のシートベルトバックル収納部分は、運転席側と助手席側で隙間がほとんど無く、密着しています。



⑭シートのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も一部形状は異なりますが同様に取り付けを行います。



※シートの片側を前に倒して元に戻す際に、シート同士の隙間が非常に狭いため、シートベルトバックル収納部に引っかかりシートの側面が破損する恐れがあります。
シートを稼働させる際は、十分ご注意ください。

2列目背もたれ



① 2列目運転席側背もたれは肩口からシートベルトが出ています。カバー背面のファスナーを開けて、シートベルトを巻き込むようにかぶせます。



④ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



② シート全体にカバーをかぶせます。



⑤ シート背面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



③ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。矢印の部分はシートの軸がありますので生地をかわして入れ込みます。



⑥ シートベルトが出ているシート肩口の土台部分に、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



⑦シート背面のバックボードを取り出します。ヘラ等を使用して角から順に生地を入れ込むようにして下さい。



⑩シートの付け根部分に生地を入れ込みます。



⑧シート背面のバックボードを取り出した図です。



⑪シートのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は肩口からベルトが出ていませので、シートの上からカバーをかぶせてマジックテープで固定して下さい。



⑨④で入れ込んだ生地とシート背面下の生地をマジックテープで固定します。

3列目座面



①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。
※図は助手席側を使用しています。



④シートの軸をかわして引き出した生地同士をマジックテープで固定します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。矢印部分に2列目と同様にシートの軸がありますので、かわして入れ込みます。



⑤カバー内側側面から出ているゴムを座面裏側から取り出します。付属のS字フックを取り付けて座面裏に引っ掛け固定します。



③入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑥前後にあるベルトを固定します。外側にあるベルトは図の支柱の上を通します。完璧にシートを跳ね上げた状態ではベルトが挟まれた状態になります。

3列目背もたれ



⑦シート裏の図です。カバー外側側面のゴムは、矢印部分のプラスチック部の隙間に引っ掛け固定します



①カバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。



⑧シートベルトバックルの収納部に生地を入れ込みます。入れ込む生地にゴムが付いていますのでバックルを通して固定します。



②シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



⑨シートのラインを整えて、3列目助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けを行います。



③背もたれと座面の隙間から生地を入れ込み、背面から引き出します。

3列目背もたれ続き



④ 12ページ③で引き出した生地とシート背面下部分をマジックテープで固定します。



⑤ シート背面のプラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。



⑥ 3列目助手席側背もたれに収納されている3列目中央ヘッドレストは、カバーを取り付けた後に元の収納部に戻します。

1. 2列目ヘッドレスト



① カバーを半分程まで裏返してヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



② カバーをヘッドレスト全体にかぶせたら、ヘッドレストを背もたれから外して底面のプラフックで固定します。



③ プラフックの固定方法は、図のように平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛けるように固定します。

3列目ヘッドレスト



④ヘッドレスト底面の図です。



①両サイドのヘッドレストです。
カバーを半分程まで裏返してヘッド
レストの先端までしっかりとかぶせ
ます。



⑤ヘッドレストを背もたれに戻して1
列目のヘッドレストの完成です。
2列目ヘッドレストも形状は異なり
ますが、同様の固定方法で取り付け
ます。



②ヘッドレスト側面のレバーを、カバ
ーの加工穴から出します。



※2列目センターヘッドレストは、始
めにヘッドレストの先端にカバーを
かぶせて、矢印方向に持ち上げるよ
うにかぶせていきます。



③ヘッドレスト裏でプラフックで固定
して、3列目ヘッドレストの完成で
す。

3列目ヘッドレスト続き



④ 3列目中央ヘッドレストはヘッドレスト底面でマジックテープで固定します。



⑦ 3列目背面からの図です。



⑤ カバーをかぶせたら背もたれの中へ戻します。



⑥ シート本体のファスナーを閉じて、カバーのファスナーも閉じます。

2列目アームレスト



①カバーを半分ほど裏返してアームレスト先端までしっかりとかぶせます。



④入れ込んだ生地を背面から引き出します。アームレスト裏面でプラフックで固定します。



②アームレスト全体にカバーをかぶせます。



⑤アームレスト付け根部分に生地を入れ込みます。



③アームレスト付け根部分から生地を入れ込みます。



⑥2列目中央ヘッドレストの台座を取り出します。取り出しにくい場合はヘラ等をご使用下さい。

2列目アームレスト続き

完成図



⑦ドリンクホルダーのプラスチック部のフチにヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



1列目



⑧アームレストの付け根部分にあるアジャスターをカバーの切込みから取り出します。



2列目



⑨アームレストのラインを整えます。
2列目アームレストの完成です。



2列目背面から

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。

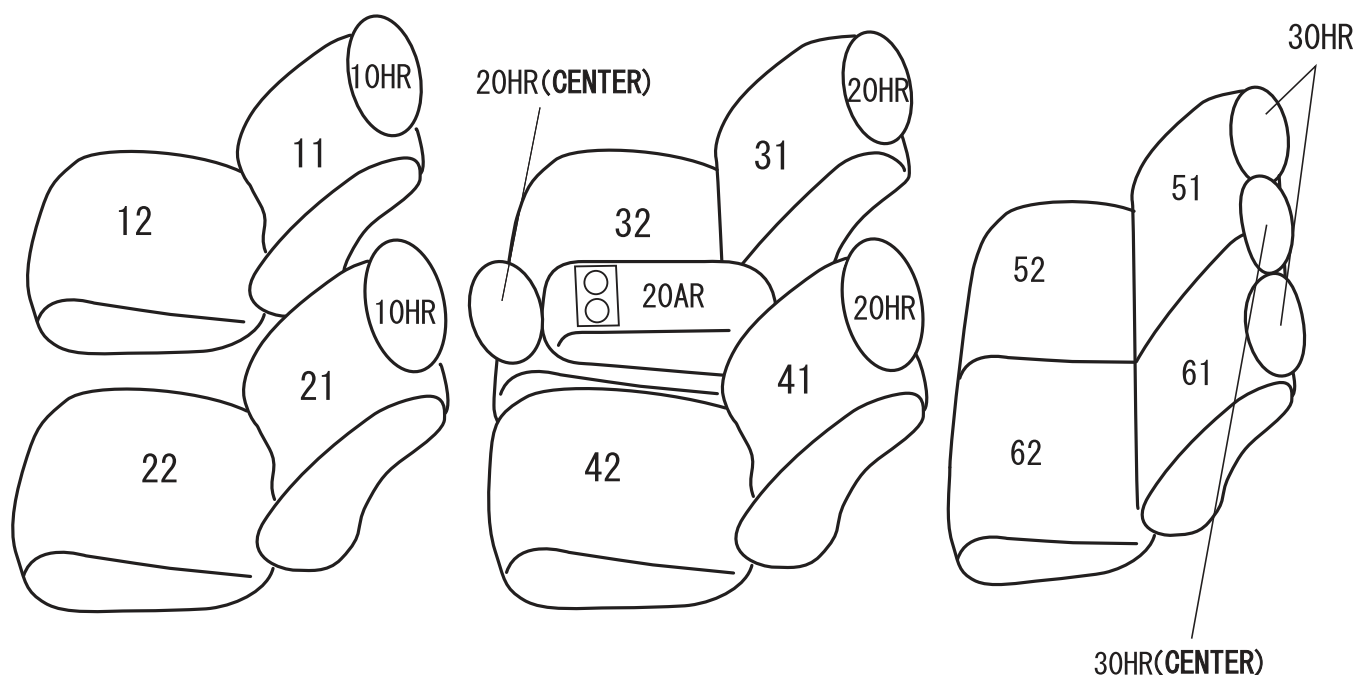


PVCLレザー

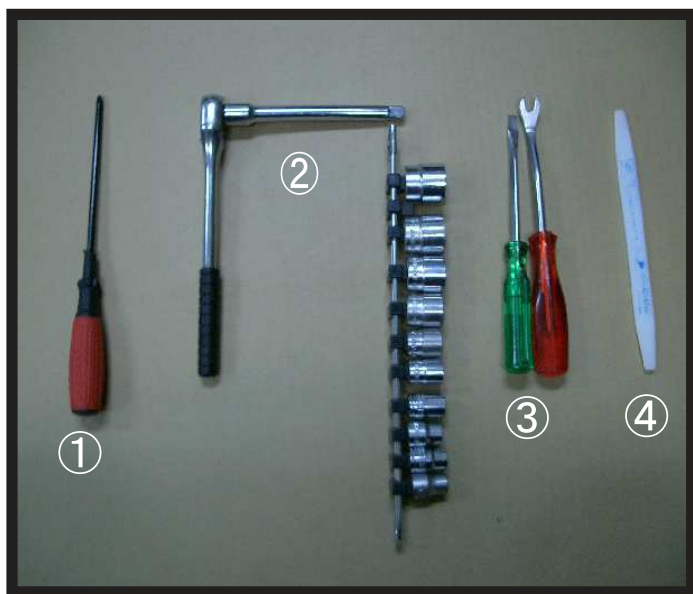
柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ -ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①の工具を使用します。

*この車種では、②、③の工具は使用しません。